

第22号

堺すずめ踊り

仲 囲 巢 連

な い す

円 陣

ENGINE

ある時、釈尊が

「たとえば、大海の底に一匹の盲亀がいて、百年に一度、海上に浮かび上がるのだ。その海には、一本の浮木が流れていて、浮木の真ん中に、一つの穴がある。盲亀が百年に一度浮かび上がった際に、その浮木の穴へ、ちょうど、頭を突っ込むことがあるだろうか」と尋ねられた。

阿難という弟子が、「そんなことは、毛頭、考えられません」と答えると釈尊は、

「誰でも、そんなことはありえないと思うだろう。だが、何億兆年よりも永い間には絶対はないとは、誰も言い切れないであろう。人間に生まれるということは、この例えよりもありえない有り難いことなのだよ」

とおっしゃっています。（「雑阿含経」）

私たちは、日常「有り難う」と言いますが、有ることが稀である、ということから出た言葉なのです。



平成30年 3月 10日発行

「盲亀浮木（もうきふぼく）の教え」・有難う（ありがとう）

私たちが何気なく使う「ありがとう」の言葉は、「盲亀の浮木のようにありえない確率で生まれてきた命が、一つでも多くの幸せに出会い生きていくことができますように。」というお釈迦様のお話が語源です。

この言葉も、幸せにつながっていますね。

ナイスが円陣を組んで「感謝・笑顔・ありがとう」と大きな声でエールを發します。

この3つの言葉が持つ意味、それは幸せに出会える魔法の言葉だったのです。

感謝は「知足のこころ」、笑顔は「幸せを呼ぶ魔法」、そしてありがとうは「幸せを感じる喜びの言葉」。

大切にしたいですね。川邊さんが言われますね。「言葉にしなきゃダメよ。」って。

「夢は思っているだけではいつまでも夢のまま、いつか忘れてしまう。それを言葉に出して初めて、それが叶う夢、いつの日か現実になる夢になる。」

だからナイスはみんなが幸せに出会えるように「感謝・笑顔・ありがとう」を声に出して大切にしましょう。

